

ふくし ふれあい

CONTACT WITH WELFARE

冬号
2023年
1月1日
No.82

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 友田孝行 編集者 浦本公也 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目17-9 TEL096-375-6029 FAX096-375-6030
<http://kumamoto.rofuku.net/>

新 年 の ごあいさつ

福祉はひとつのもと、連帯・協同でつくる 安心・共生の福祉社会をめざして

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 理事長 友田 孝行

明けまして
おめでとうございます。ご
家族お揃いで
穏やかな新年
をお迎えのこ



ととお慶び申し上げます。日頃より、
労働者福祉運動の前進に向けた取
り組みとともに、福祉事業団体の
事業推進に対するご理解・ご協力
に厚く御礼申し上げます。

「福祉はひとつ」でスタートした
労働者福祉運動は、働く仲間同士
で助け合い、支え合う「しくみ」として、
労働金庫・労働者共済を創り、組
織強化とともに利用促進・共助拡
大に努めてきました。

熊本県労福協では昨秋、「今こそ、
労福協の力を。」を合言葉に「2022

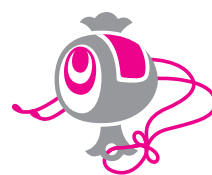
全国福祉強化キャンペーン」に取り
組み、とりわけ、利用促進・共
助拡大への協力要請を各加盟労働
団体への訪問等を通じ、実施して
きたところです。ご対応いただき厚
く御礼を申し上げます。

コロナ禍の収束の兆しが見えな
い中、現在でも多くの組合員とそ
のご家族は不安を抱えながら生活
を送られています。また、社会的
に弱い立場にいる多くの方々が、
コロナ禍により休業・生活困窮・
住居喪失などの困難を抱えるなど
大きな影響を受けています。こうし
た状況も踏まえ、協同組合や労働
者福祉事業の意義や役割、そして
労働組合と労働者福祉事業団体は
「業者とお客さま」の関係ではなく、
「ともに運動する主体」であること

をお互いに再認識し、運動を前進
させていく必要があります。

これまで先輩たちがつくり育てあ
げ、働く方々の生活に大きく貢献し
てきた労働者福祉運動をさらに充
実しつつ、「すべての働く人の幸せ
と豊かさをめざして、連帯・協同
でつくる安心・共生の福祉社会」
の実現に向けて、ともに取り組んで
まいりましょう。

皆さんにとりまして、実り多き一
年となりますよう心より祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたします。



2023 年度の役員の皆さんです。よろしくお願いします。

役職名	氏 名	選出団体	役職名	氏 名	選出団体
理事長	友田 孝行	連合熊本(電機連合)	理 事	中谷 真弥	連合熊本(電機連合)
副理事長	峯 潔	福祉事業団体(自治労)	理 事	河野 泰博	連合熊本(情報労連)
副理事長	園田 海舟	福祉事業団体(電力総連)	理 事	安本 浩志郎	福祉事業団体(JP 労組)
副理事長	松村 勲	連合熊本(自動車総連)	理 事	山本 寛	連合熊本(情報労連)
専務理事	浦本 公也	連合熊本(国公連合)	監 事	猿渡 研一	連合熊本(JAM)
理 事	梶田 秀治	連合熊本(UA ゼンセン)	監 事	嶋田 重信	福祉事業団体(労働金庫)
理 事	矢野 良輔	連合熊本(交通労連)	監 事	村枝 哲弥	連合熊本(県教組)
理 事	山野 雄一郎	連合熊本(運輸労連)			

2020年県南豪雨災害被災箇所視察

一人ひとりが、日頃から防災・減災に取り組むことが必要

2022年10月28日人吉市で開催した第2回地区労福協代表者会議に合わせて、人吉球磨の久保田事務局長の案内で2020年7月に発生した豪雨により甚大な被害を被った人吉市内の被災箇所の視察を行いました。

JR肥薩線の線路は波打ち、鉄橋は橋脚のみという想像を絶する被害に驚嘆するばかりで、また、雑然とした更地には雑草が生い茂り「ここにも、ここにも家があっ

た」との説明から自然災害の脅威を感じました。

一日も早い復興を願いますが、地球温暖化による気候変動は、今後益々大きな自然災害の発生を助長することは明らかです。

熊本県は、今回の豪雨災害から川辺川ダム建設をすると過去の判断を覆す決断をしました。ダム建設に翻弄された住民の方、

15年連続水質日本一と言われる清流川辺川がどうなるのか非常に気になりますが・・・。

まずは、高まる自然災害の危険



人吉青井神社横の電柱に記された洪水の水位



▲被災当時のままの肥薩線の線路



▲橋脚だけの肥薩線の鉄橋

性（リスク）に向き合い、私たち一人ひとりが、日頃から防災・減災に取り組むことが必要なのではないでしょうか。

2022年度 連合熊本・県労福協合同研究集会開催

「阿蘇の草原から持続可能な未来を考える」を演題に増井太樹氏が講演



(公財) 阿蘇グリーンストック 常務理事 増井太樹氏

2022年12月7日(水)ANAクラウンプラザホテル熊本NSにおいて「2022年度連合熊本・熊本県労福協合同研究集会」を開催しました。

た。

福祉事業団体 九州労金熊本県本部・嶋田重信副本部長、こくみん共済coop熊本推進本部・吉村泰之事務局長、ユニオントラベル熊本・青木栄専務理事、岩佐孝史事務局長、ライフサポートセンターくまもと・徳富幸平事務局

長から報告と課題の提起があり、参加者で共有させていただきました。

その後「持続可能な社会の実現をめざして」というテーマのもと(公財)阿蘇グリーンストック常務理事 増井太樹氏を招いて「阿蘇の草原から持続可能な未来を考える」を演題に講演をいただきました。阿蘇グリーンストックが設立され、2025年には30周年を迎えることから、増井常務理事が中心となり、中期構想(～2027年度)が本年5月に策定されました。阿蘇の豊かな緑を後世にという理念、地域の中核支援機関として機能するというビジョン、そして持続可能な阿蘇地域の自然・社会・経済を構築していく支援を行うとす

るミッションが示されています。そこには、阿蘇グリーンストックの理念が、SDGsのウエディングケーキモデルと同じであり、経済圏、社会圏が成立するためには、「生物圏」の持続可能性がなければならない、まさしく阿蘇グリーンストックが実践してきた活動は「SDGs」であると。

自らが研究を行ったことをしっかりと生かして地域づくりに取り組んで行きたいという強い思いを感じる講演でした。参加された方も、阿蘇の草原を見つめ直す機会になったのではないのでしょうか。維持することの大変さを感じながら、私たちが出来ることを考えて行きたいと思います。まずは、阿蘇あか牛焼肉セットの購入から・・・

福祉事業団体

新年のご挨拶“皆さんと共に一層の躍進を”

明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、



九州労働金庫
熊本県本部
本部長

峯 潔

日頃から労働金庫の事業と「ろうきん運動」に対してご理解とご協力を頂いていますことに感謝申し上げます。

日頃から労働金庫の事業と「ろうきん運動」に対してご理解とご協力を頂いていますことに感謝申し上げます。

昨年は、2020年から続くコロナ禍に加え、世界的な物資不足、急激な円安・インフレなど労働者を取り巻く環境

は、非常に厳しいものでした。また、人生100年時代と言われながら、少子高齢化・人口減社会が進展しており、社会保障をはじめ先が見通せない時代ともいえます。

今年は、「癸卯（みづのと・う）」の年です。「これまでの努力が花開き、実り始める」という意味を表わすと言います。2023年は、コロナ禍に苦しめられた3年間から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年にしなければなりません。

九州労働金庫は、厳しい時代背

景であるからこそ、唯一の労働者のための福祉金融機関として「生活設計」「生活改善」「生活防衛」を3本柱とする「しあわせ創造運動」を会員の皆様との連携・協働により深化させ、労金の理念である「喜びをもって共生できる社会の実現」に寄与してまいります。

熊本県労働者福祉協議会の更なる発展に構成組織の一員として取り組んでいくことを決意して年始のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。

新年を健やかにお迎えられたこととお慶び申し上げます。



こくみん共済
Coop熊本推進本部
本部長

園田 海舟

旧年中は、こくみん共済coop〈全労済〉の事業推進に格別のご支援を賜りましたことに御礼申し上げます。

旧年中は、こくみん共済coop〈全労済〉の事業推進に格別のご支援を賜りましたことに御礼申し上げます。

昨年も全国各地で自然災害が発生し、近年は甚大化・広範化・頻発化の傾向にありますので、皆さまも災害への

万全の備えをお願いいたします。なお、こくみん共済 coop では災害時無保障者の解消に取り組んでいますので、ご相談などはご遠慮なくお申し付けください。

さて、熊本推進本部では「純増実績、新規・増口、予定付加掛金収入」の事業目標達成に向けて、団体生命共済制度改定に伴う提案活動、マイカー共済・自賠責共済の加入促進に向けた指定整備工場との連携、社会貢献活動の「7才の交通安全プロジェクト、こどもの成長応援プロジェクト」を柱と

して、連合熊本、県労福協、協力団体・代表委員、共創パートナー（ろうきん・自動車分解整備事業者・生活協同組合）の皆さまと手を携えて、より一層の進展が図られるよう活動を展開して参ります。

今後、社会環境が大きく変化していく中、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実現するために、組合員への「お役立ち」発想と「共創」で時代の変化に対応したこくみん共済 coop をめざして参りますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。
旧年中、ユニオントラベル熊



ユニオン
トラベル熊本
理事長

安本浩志郎

本へのご利用、ご協力をいただきました皆様へ心より感謝を申し上げます。

本へのご利用、ご協力をいただきました皆様へ心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではございましたが、

にございます。本当にありがとうございます。

私は日々の生活の中で、「健康」が一番大切だと思います。その「健康」は、「身体」だけでなく、「心」にも必要だと思います。

コロナ禍の中、顔を合わせて話をすることが、本当に大切なことだと実感された方も多くいらっしゃるかと思います。「身体」と「心」をリフレッシュできるよう、「家族旅行」や「親しい方との新年会」・「仲間との交流」にユニオントラベル熊本を今後も

ご利用いただけると幸いです。

新年を迎えるにあたり、感染拡大状況も懸念されますが、何事も「前向き」に行うことが重要だと思います。

2023年の新しい年もコロナ感染防止対策を行いつつ、皆さまとさらに前進していけるよう、理事会並びに職員一同、一緒になって取り組んでいきたいと考えております。

私たち「働く人」がつくった旅行会社「ユニオントラベル熊本」を本年も引き続きよろしくお願いいたします。

2022年度を振り返ってライフサポートセンター相談内容と課題

相談件数は88件と、昨年度の141件から4割の減少となっています。これは行政等による生活相談体制や周知の充実が図られたことと併せ、外国人労働者や専門性の高い相談への対応が必要であることから昨年12月からは連合本部が全国の相談を(0120-154-052で)一括して受け、必要に応じて各県で再対応するシステムへ移行したことによるものです。

ただし、相談件数は減少したものの、直接来局や電話(096-375-3811)による相談については、単純なアドバイスでは終わらないケースも少なくなく、連合熊本ユニオンが事案を引き継ぎ、団体交渉等による事案解決のケースも少なくありません。

相談経路はいわゆる口コミとホームページが中心ですが、SNSを通じた相談も増加傾向にあります。内

容は、採用時に説明された労働条件と違う、一方的な労働条件の改悪といった賃金条件に関する相談や解雇や雇止めといった雇用の問題が中心ですが、その多くがハラスメントに関係するものとなっています。

なお、生活困窮の相談も増えており、行政や社協、その他支援を行っている民間団体等との連携が重要になっています。

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりがかけがえない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています



医療法人社団熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、神経科、リハビリテーション科

●理事長／木村 孝文 ●院長／山口 秀樹

●入院／無 ●駐車場／有

・診療受付時間（日曜日・祭日休診）

月～金曜日／午前 9:00～12:00 午後 14:00～18:00

土 曜 日／午前 9:00～12:00 午後 13:30～15:00

※ただし、木曜日の午後と土曜日の午後は鍼灸はお休みです。

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田 3441-20 ☎096-368-6007

（一財）熊本県労働者福祉会館

労働者福祉会館はいつでも、だれでもご利用できる施設です。

- ・研修、団体やサークルなどの会議
- ・パーティーや各種会合、打ち上げなど
- ・車いすの方もご利用OK、トイレ完備



熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9
TEL 096 - 362 - 1201
FAX 096 - 362 - 1203

ユニオントラベル熊本からあなたへ

全国旅行支援のご利用をご検討中の皆様へ

ユニオントラベル熊本でも取扱しています！

新型コロナウイルスの影響でダメージを受けた観光産業を後押しするためのキャンペーンです。割引や地域クーポンがもらえてとってもお得です。予算がなくなり次第終了となりますのでお早めにお申し込みください。

	2022年12月27日まで	2023年1月から (開始日未定)
割引率	40%	20%
割引上限額 (1人1泊あたり)	●交通付旅行/8,000円 ●その他/5,000円	●交通付旅行/5,000円 ●その他/3,000円
クーポン券 (1人1泊あたり)	●平日/3,000円 ●休日/1,000円	●平日/2,000円 ●休日/1,000円
対象	全国の都道府県からの旅行	

ユニオントラベル熊本ではお客様に代わり、全ての手続きをいたします。
事務手数料としてお一人様 500 円頂きますが、面倒な手続きはユニオントラベル熊本にお任せください。

お問い合わせは



生協
法人

ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022 FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺1丁目17-9-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

編集後記

■2023年がスタートしました。新型コロナウイルスが発生して3年経過し、社会活動も徐々に再開されるようになってきました。一方では、国際紛争による平和や世界経済、国民生活への影響が深刻化しています。コロナ禍により仕事を失い困窮に至った人がたくさんいます。そのような方への継続した支援と公的セーフティーネットの強化が必要となっています。■防衛費の増額について財源はどうするのか議論が行われています。増額すべきと考える人、増額すべきでないとする人、様々な意見があるかと思います。今の日本の現実を直視した場合、超少子高齢化の対策が喫緊の課題であり、「安心して働き暮らせる社会」の構築に向けた財源が必要ではないでしょうか。■「福祉はひとつ」社会が如何に変化しようが、支え合い・助け合いのところが希薄になることだけは留めなければなりません。すべての働く人の幸せと豊かさをめざして本年も労福協の運動を推進します。皆さまのご協力を宜しくお願いします。(K. U)